

きたネット全道交流会が終了 大発見！ウヨロ川のベニザケ

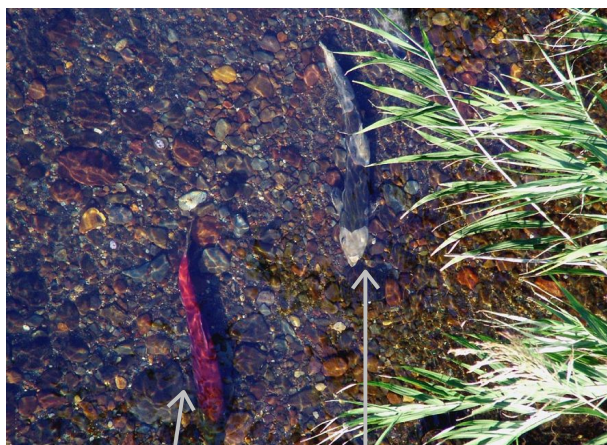
北海道市民環境ネットワークの全道交流会 in 白老が10月13日から2日間、全道から約50名の参加で開催されました。

1日目は、遠くは稚内、美幌などから10数団体の参加があり、参加団体の紹介が行われ、引き続き辻井達一先生の講演「里山～親しみやすい空間のために～」。辻井先生は生物多様性という観点から、里山の保全の必要性を説明され、世界の里山的自然、景観の写真を紹介して、北海道の里山との類似性をお話されました。その後参加者それぞれが里山の絵を描き、里山のイメージを実感しました。

2日目は約40名が2つのコースに別れ、ウヨロ川フットパスをウォーキング。萩の里自然公園出発の最後尾のグループは、町道のウヨロ橋の下で赤いサケを発見。その後専門家が写真を確認しベニザケであることが判明しました。ベニザケは、道内では安平川や美々川などの数河川で回帰が見られますが、白老地域では海域を含めてまず見かけることがなく、今回はまれな迷入個体であると思われます。

今年はサケの遡上の観察のため、札幌等からエコツアーとして多くの方がウヨロ川フットパスを歩きにきていますが、サケの遡上観察地としてこのフットパスの知名度がさらに上がることが期待されます。

ベニザケ発見は新聞に掲載見込みです。



ベニザケとシロザケ(10/15 坂本会員撮影)

全道フットパスの集い参加報告 新岡幸一

10月13日、14日にニセコ町で第7回全道フットパスの集いが開催された。

全道各地から約100名の参加で、主催者の挨拶に続いて「街道でつなぐコミュニティ」と題して宮田太郎氏(古街道研究家)の基調講演。引き続き各地の取り組みがスライドや資料などで事例発表や活動報告があり、ウヨロ川フットパスも紹介させていただいた。休憩後交流会へ。

二日目は3コース分かれて、それぞれが選択したコースごとに9時にニセコ駅をスタート地点までバスで移動しニセコ町のフットパスを楽しんだ。一般の方や地元町民も多数参加された。

12時にニセコ駅に同時に到着し、解散式を行った。昼食会では地産地消でのジギスカンを囲み和気藹々と楽しみながら地元農産物の紹介を聞き、お互いに帰りの無事を祈って別れた。

開催式では全道フットパス準備委員会代表を小川さんに依頼され、私が挨拶をした。(乗せられた感じだが、これだけ各地でフットパスの取り組みが広がってきたことは大変良いことだと思う。)

行事案内(10～11月)

10月20日(土) 10:00～15:00

ピリカワッカの森づくり

森のしるしつけ、わくわく植栽、ウォーキングなど
詳細は裏面のチラシ参照。参加費 500円
申込みは18日午前中まで、トラスト事務局へ。

11月4日(日)

秋のデイキャンプ 9:30～15:30

ボランティア・スタッフを募集しています。
(詳細はチラシ) 参加費 スタッフ無料

11月11日(日) 10:00～15:30

森林ボランティア体験会「カラマツ林育樹祭」

参加費 トラスト会員500円(一般600円)

11月～2月 森づくり実践講座(全4回)

第1回 11月18日(日) 森林調査の方法を学ぼう

詳細は同封のチラシをご覧ください。